

自民党看護を考える議員連盟 県内病院・施設視察(平成26年2月18~19日)における主な意見に対する対応等の状況

2 看護職員の就労環境改善(ワークライフバランス)

No.	意見	地区	対応等の状況
5	多様な働き方への対応		看護職員数を増やすために離職防止対策が重要であり、その一つとして短時間正職員制度の導入など、様々な事情を抱える看護職員が働きやすい就業環境をつくることが大切であると考えている。来年度、医療勤務環境改善支援センターを立ち上げ、病院等が行う自主的な勤務環境改善の取組を支援していくこととしている。
	①子育て中のために夜勤をしない看護師の分をその他の看護師で補っているが、こうした負担を負う看護師への支援が必要である。	東部	
	②親族の介護と看護師としての勤務を両立しなければならない。	西部	
	③ワークライフバランスを推進し、看護職員が不足している中で、子育て中の看護職員や60歳以上の看護職員が働きやすい環境づくりをする必要がある。	中部	

